

2023 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

| | |
|-------|--|
| 氏名 | 中嶋 奈津子 |
| 研究テーマ | 神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか— |
| 研究概要 | 岩手県花巻市の早池峰神楽（岳神楽・大償神楽）の近現代における継承と伝播の過程を明らかにし、かつ長期に渡り神楽の存続を可能とした伝承システムを解明する。さらに、周辺の神楽と比較することで、岳や大償の神楽を伝播の頂点とする従来の「早池峰神楽」像を再考し、盛岡藩領における早池峰山麓の修験系神楽の広がりを解明する。 |

| | |
|------------------|--|
| 1. 研究活動の概要と研究成果 | 令和5年度は、早池峰大償神楽（岩手県花巻市大迫）の担い手とその地域性についての調査を実施した。大償神楽は神楽開始から500年以上経過すると伝えられるが、その担い手については明確にされていない。そこで、江戸時代末期から近現代における神楽の担い手について調査を行い、家同士の関係性や居住地域の特色などを含めて分析した。結果、明治時代までは大償三社大権現別当佐々木家の血族の家と、早池峰山の最初の里宮である田中明神別当山陰家の弟子により神楽が担われていたこと、後に佐々木家の分家や大償集落の決まった家筋の人々により神楽が担われるようになり、時代の流れとともにその範囲が広がっていくことが明らかになった。 |
| 2. 学術論文・学会発表等 | <p>〔論文等〕</p> <p>単「早池峰大償神楽の担い手について」『佛教大学総合研究所紀要』第31号 研究ノート、pp. 17~26、佛教大学総合研究所（2024年3月、査読有）</p> <p>単「盛岡の民俗芸能」「盛岡の文化財」『盛岡市史 現代 資料編』盛岡市、2024年発行予定</p> <p>〔発表〕</p> <p>単「早池峰大償神楽の担い手について」第75回日本民俗学会年会 2023年10月22日 成城大学</p> <p>単「大償神楽の担い手と地域性について」東北民俗の会 2023年度10月例会 2023年10月14日 仙台市震災復興記念会館</p> <p>〔講演〕</p> <p>① 2024年1月27日「供養と芸能について」主催：岩手県民俗芸能保存連絡協議会 サンセール盛岡</p> |
| 3. 競争的資金等への応募と採択 | 2020年度科学研究費（基盤研究C）「神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか—」（採択期間2020年4月1日～2025年3月31日） |
| 4. 今後の課題 | <p>① 大償神楽と岳神楽の近現代における担い手についての継続調査。</p> <p>② 岳・大償神楽以外の早池峰山麓の神楽集団の特質の明確化と継承状況の確認。</p> <p>③ 現代における早池峰神楽の在り方についての検討。</p> |